

帝人株式会社 ■ 広報・IR室

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150
●大阪本社 〒541-8587 大阪市中央区南本町1丁目6番7号 TEL.06-6268-2763 FAX.06-6268-3010
●URL <http://www.teijin.co.jp>

2011年1月20日

トヨタ自動車株式会社より レクサスLFA開発に対する技術貢献が表彰されました！

東邦テナックス株式会社

帝人グループで炭素繊維事業を展開している東邦テナックス株式会社は、トヨタ自動車株式会社のプレミアムスポーツ「レクサスLFA」のキャビン構造に採用された新規炭素繊維材料「セミプレグ」が評価され、特に技術的な貢献が大きいサプライヤーに送られる「プロジェクト表彰『技術の部』」で表彰を受けました。

「セミプレグ」は、東邦テナックスが独自に開発した大型成形物製造技術であるレジフィルムインフュージョン技術(*)に改良を加え、最も信頼性が求められるキャビン構造に適応する材料として、トヨタ自動車と共同開発したものです。この成形材料を用いることで、従来、最も信頼性が高く、航空機の一次構造体などに用いられているオートクレーブ成形(**)によるコンポジットと同等の性能を実現しました。さらに、この技術は汎用性の高い炭素繊維を使用することができることから、供給安定性と低コストを実現することが可能となります。

なお、東邦テナックスは「レクサスLFA」向けとして、キャビン構造以外にも、ステアリングホイールやディフューザー、アクティブリヤウイング、インテリア部品など多くのコンポジット部品を供給しています。

東邦テナックスは、自動車用途における炭素繊維複合材料の開発を重点課題の一つに掲げており、帝人の複合材料開発センターとの協業により、より高度な炭素繊維複合材料開発やさらなる技術革新を進めています。今後は、高級車だけでなく、汎用車への採用を目指し、炭素繊維複合材料の事業拡大を推進していきます。

(*)レジフィルムインフュージョン技術：シート状に積層した炭素繊維に、真空環境下で加熱しながら樹脂を含浸させる技術。オートクレーブ成形に比べ、大型設備が不要で、安価な製造が可能。

(**)オートクレーブ成形：圧力容器内で、プリプレグを高圧下で加熱して成形する方法。高品質なコンポジットを製造する際に使用されるが、大型成形の際は多額の設備投資が必要となる。

以上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 広報・IR室 [東京](03)3506-4055 [大阪](06)6268-2763